

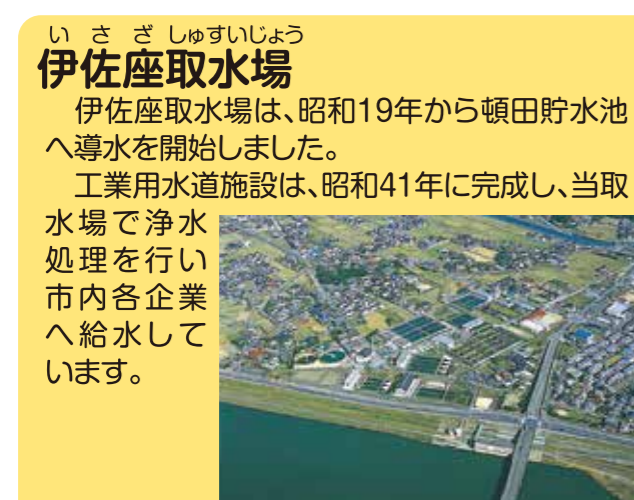
北九州市の
上水道の6割、
工業用水道の全量

おんががわ 遠賀川を見てみよう



遠賀川源流の森づくり事業への参加

本市の水源地のひとつである嘉麻市で行われている「遠賀川源流の森づくり」に、平成9年度から参加し、遠賀川源流付近の下草刈りや植樹を行っています。(H28年度参加者:136名)



遠賀川は、馬見山(嘉麻市)を源とし、響灘に注いでいる一級河川です。流域は7市14町1村にまたがり、流域面積、幹川流路延長及び流域人口は、それぞれ1,026km²、61km、及び約67万人です。

「おいしい水づくり」の取り組み

「水源地への感謝の気持ち」といつでも安全で良質な水道水をお届けできるよう、水源地の植樹や除草などの環境保全活動に取り組んでいます。嘉麻市で行われている「遠賀川源流の森づくり」には平成9年から、公募による市民の皆さんと一緒に参加しています。

※市民参加者は開催時期の約1ヶ月前に「市政だより」で募集しています。
※このほかにも、本市の水源地である油木ダム(添田町)や耶馬溪(大分県中津市)などで植樹作業や除草作業を行っています。



災害に負けない上下水道

～安全で快適なくらしを支えます～

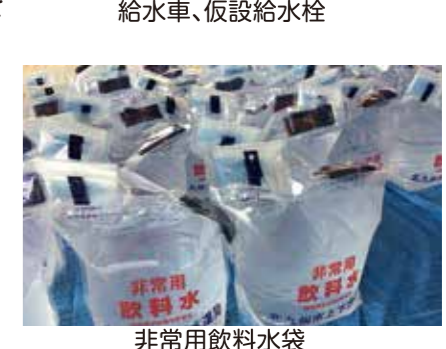


九州北部豪雨災害における本市の支援状況について

平成29年7月に発生した九州北部豪雨災害では、上下水道局の市職員と北九州管工事協同組合員が協力して、朝倉市・東峰村・添田町で応急給水活動や応急復旧活動を行いました。

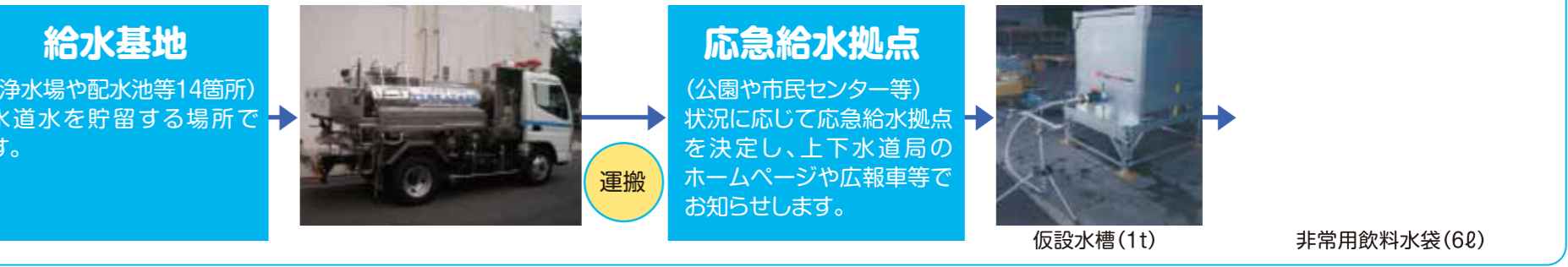
応急給水活動について

地震等の災害や管路事故等で広範囲にわたって断水が生じたときは、運搬給水又は仮設給水栓給水(併用を含む)により、市民へ飲料水を配布する応急給水活動を行います。この活動は、給水車、給水タンク、仮設給水栓及び非常用飲料水袋等を用いています。



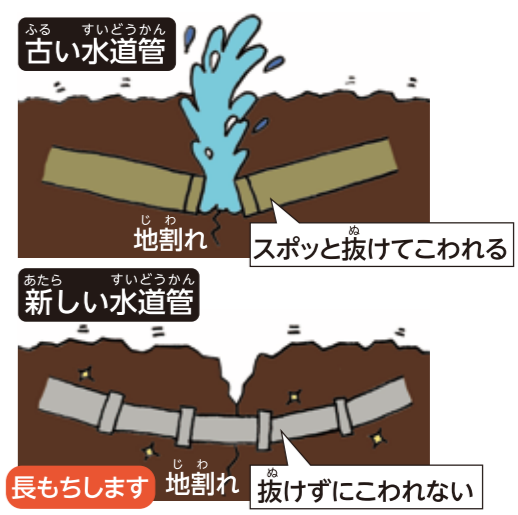
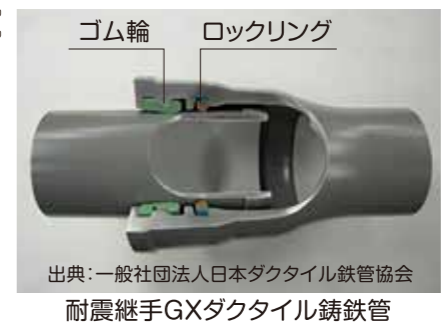
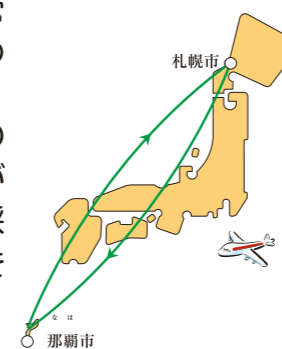
応急給水活動状況(朝倉市) 応急給水活動状況(添田町) 応急復旧活動状況(東峰村)

運搬給水



水道管路の更新による耐震化

北九州市の水道事業は100年以上の歴史を有しており、水道管路の総延長は約4,500km(札幌市と那覇市までの直線距離を往復するのと同じ)もあります。そのため、安全で安定的な給水を確保するためには、古くなった水道管を新しい水道管に取り替える工事を効率的かつ計画的に進めていくことはとても重要です。そこで本市は、年間約50kmの水道管路の更新工事を実施しています。さらに、耐久性があり、地震にも強い最新の水道管(GX管)を採用することで、安全で安定的なライフラインを構築しています。



安全安心な水道水

本市では、毎日、水質検査を行い、安全安心な水道水を皆様にお届けしています。しかしながら、近年、水道水への関心の高まりもあり、様々なお問い合わせが寄せられています。ここでは、その中でもよくあるお問い合わせをご紹介します。

<h3>赤い水が出る</h3> <p>原因 配水管や給水管内の鉄さびが原因と考えられます。鉄さびの量によっては、黒い粉が出たり、黄色や薄緑色に見えたりもします。</p> <p>対策 しばらく水を流した後、きれいになったら使用してください。突然、赤水が出始めた場合は、工事等の影響が考えられますので、次ページの工事事務所に問い合わせください。</p>	<h3>白い水が出る(しばらくすると透明になる)</h3> <p>原因 水道水中に溶けていた空気が開栓により放出されたものです。コップに入れて観察すると、徐々に下方から透明になっていきます。給湯器からのお湯でも同様の現象が見られます。</p> <p>対策 原因は空気であるため、安全性に問題はありません。</p>	<h3>浴槽の水が青く見える</h3> <p>原因 海等が青く見えるのと同じ原理で、光の吸収が原因です。特に、白色系の浴槽で顕著に見られます。</p> <p>対策 水の着色が原因ではないので、安全性に問題はなりません。</p>
--	--	---

【水質関係のお問い合わせ】 水質試験所 ☎093-641-5948

海外事業の展開

～国際技術協力のはじまりと海外水ビジネス～

北九州市上下水道局では、1990年のマリ共和国に始まり、近年ではアジアを中心とした国々において、上下水道分野の技術協力を実施しています。特に関わりの深いカンボジアでは、1999年に専門家の派遣を開始してから短期間で、水道普及率、給水時間、無収水率(漏水・盗水)が劇的に改善し、アジアで数少ない「飲める水道水」を実現しました。また、この国際技術協力で培った経験や相手国との厚い信頼関係のもと、民間企業の技術力を活用して、官民一体となって海外水ビジネスを展開しています。

～次世代の若者の育成～

新たな取り組みとして、平成29年度に初めて「上下水道コース人材理解促進研修」を実施しました。次世代の水インフラと国際貢献を支える人材育成を目的として行ったもので、高校生6名が、市内やカンボジアにおいて、上下水道の技術や国際協力の現場を学ぶ研修に参加しました。

カンボジアでの研修の様子

国際技術協力の目的

- 国際貢献
- 職員の技術の継承と人材育成
- ⇨海外での指導経験を通じて育成が可能